



第81回国民スポーツ大会・  
第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会



## 第7回全国障害者スポーツ大会専門委員会

期 日：令和5年12月19日（火）  
時 間：午後1時30分から午後3時まで  
場 所：県防災庁舎5階 防52・53号室

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 委員紹介

4 報 告

- (1) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会準備経過
- (2) 宮崎県準備委員会決定事項
- (3) 第26回全国障害者スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の名称変更
- (4) イメージソング歌詞決定及び専用ウェブサイト・公式SNSの開設について

5 議 事

- (1) 第26回全国障害者スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の変更（素案）
- (2) 第26回全国障害者スポーツ大会 正式競技 第3次会場地市町村選定（素案）
- (3) 第26回全国障害者スポーツ大会 選手団サポーター養成基本方針（案）

6 その他

- (1) 手話・要約筆記ボランティア養成 実施状況
- (2) 燃ゆる感動かごしま大会 視察報告

7 閉 会

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会  
第7回全国障害者スポーツ大会専門委員会

【委員】

(順不同・敬称略)

所属	役職	氏名	備考
宮崎県障がい者スポーツ協会	チャレンジスポーツディレクター	木 下 理	
公益財団法人宮崎県スポーツ協会	競技力向上対策監	北 林 健 治	
宮崎県パラスポーツ指導者協議会	会長	野 中 求	
一般財団法人宮崎陸上競技協会	副理事長	河 野 敏 史	
一般財団法人宮崎県水泳連盟	理事	横 山 祐 太	
宮崎県アーチェリー協会	理事長	原 田 佳 司	
宮崎県卓球協会	理事長	吉 藺 孝 雄	
宮崎県障がい者卓球連盟	理事長	山 口 利 信	
宮崎県障害者フライングディスク協会	事務局長	藤 本 啓 介	
宮崎県ボウリング連盟	理事長	原 口 宏 史	
宮崎県ポッチャ協会	事務局長	水 野 啓 三	
一般社団法人宮崎県バスケットボール協会	監事	中 村 彰 成	
宮崎県車椅子バスケットボール連盟	会長	甲 斐 義 喜	
宮崎県ソフトボール協会	理事長	平 本 修	
宮崎県バレーボール協会	常任理事	市 來 洋	
一般社団法人宮崎県サッカー協会	常務理事兼事業・広報委員会委員長	金 川 敏 洋	
宮崎県特別支援学校長会	副会長	堀 克	
公立大学法人宮崎県立看護大学	教授	串 間 敦 郎	
社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会	参与	興 梶 寛 治	
一般社団法人宮崎県身体障害者団体連合会	副会長	倉 山 幸 一	
一般社団法人宮崎県手をつなぐ育成会	副会長	井 上 あ け み	
宮崎県精神保健福祉連絡協議会	事務局長	杉 田 周 士 郎	
公益財団法人宮崎県視覚障害者福祉協会	事務局長	富 永 昌 志	
社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会	理事長	堀 田 享 志	
宮崎県知的障害者施設協議会	副会長	高 橋 秀 直	
教育庁特別支援教育課	課長	横 山 貢 一	欠席
教育庁スポーツ振興課	課長	木 宮 浩 二	欠席

【事務局】

宮崎県準備委員会事務局 (宮崎県総合政策部 国スポ・障スポ準備課)	課長(事務局長)	塩 田 康 一	
	課長補佐(事務局次長)	白 水 都	
	主幹	村 田 天 秀	
	主幹	菊 川 明 子	
	主幹	松 田 稔 幸	
	主幹	池 田 憲 司	
	副主幹	渡 邊 大 介	
	主査	黒 木 つ く し	
	主事	辰 本 拓 磨	
	宮崎県福祉保健部 障がい福祉課	主幹	飽 田 智 洋
主査		甲 斐 隆 夫	
主査		岩 永 道 尚	
主事		福 永 直 城	



第81回国民スポーツ大会  
第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会



第7回全国障害者スポーツ大会専門委員会

## 報告事項



つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

令和5年12月19日（火）

宮崎県防災庁舎防52・53号室

# 目 次

○ 目 次	1
1 報 告	
(1) [国スポ・障スポ]大会準備経過等	2～5
(2) 宮崎県準備委員会決定事項	
① [国スポ・障スポ] 大会会期（案）	6
② [国スポ・障スポ] 正式競技開催予定施設の変更	7
③ [国スポ] デモンストレーションスポーツ実施競技及び会場地市町村 第3次選定	8
④ [障スポ] オープン競技実施基本針	9
⑤ [国スポ] 記録業務基本方針	10
⑥ [国スポ・障スポ] 宿泊基本計画改正	11～12
⑦ [国スポ・障スポ] 警備・消防・防災基本方針	13
⑧ [国スポ・障スポ] 式典基本構想別冊	別冊
⑨ [国スポ] 正式競技 会場地市町村第10次選定	14
⑩ [国スポ] 正式競技 開催予定施設の変更	15～20
⑪ [国スポ・障スポ] 文化プログラム実施基本計画	21～23
(3) 第26回全国障害者スポーツ大会	
正式競技 開催予定施設の名称変更	24
(4) イメージソング歌詞決定及び	
専用ウェブサイト・公式SNSの開設について	25

## 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会準備経過

年 月 日	内 容
平成27年 1月14日	公益財団法人宮崎県体育協会（以下「県体協」という。）臨時理事会及び評議員会において、「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致」を決議
2月12日	県体協が県、県議会及び県教育委員会に「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致要望書」を提出
2月25日	知事が県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致」を表明
3月13日	県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を全会一致で議決
3月16日	定例教育委員会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を議決
4月17日	知事が文部科学省に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」と「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出 知事が公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」を、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
6月11日	日体協第1回国体委員会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出順序了解県」として承認
7月22日	日体協第3回理事会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出県」として了解（宮崎県開催が内々定）
平成29年10月30日	第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
11月14日	第1回総務企画専門委員会及び第1回施設整備専門委員会を開催
11月17日	第1回競技運営専門委員会を開催
12月14日	第1回市町村担当者会議及び第1回競技団体担当者会議を開催
平成30年 5月22日	第2回総務企画専門委員会を開催
7月 9日	第2回常任委員会及び第2回総会を開催
7月24日	第1回広報・県民運動専門委員会を開催
7月31日	第2回市町村担当者会議及び第2回競技団体担当者会議を開催
10月29日	第3回総務企画専門委員会を開催
12月19日	第2回競技運営専門委員会及び第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成31年 1月31日	第3回常任委員会を開催
2月 6日	第4回総務企画専門委員会を開催
3月15日	第3回市町村担当者会議及び第3回競技団体担当者会議を開催

年 月 日	内 容
令和元年 5月30日	第5回総務企画専門委員会を開催
7月 1日	第4回常任委員会及び第3回総会を開催 「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会」に改称
7月 9日	第3回広報・県民運動専門委員会を開催
8月 2日	第1回開催基本構想策定検討部会を開催
8月28日	第4回市町村担当者会議及び第4回競技団体担当者会議を開催
11月12日	第6回総務企画専門委員会を開催
12月16日	第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月17日	第2回開催基本構想策定検討部会を開催
12月20日	第5回市町村担当者会議及び第5回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
令和2年 1月16日	第1回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
1月31日	第7回総務企画専門委員会を開催
2月 5日	第4回広報・県民運動専門委員会を開催
2月 7日	第3回開催基本構想策定検討部会を開催
2月17日	第5回常任委員会を開催
3月18日	第6回市町村担当者会議及び第6回競技団体担当者会議（資料配付のみ）
6月25日	第8回総務企画専門委員会を開催
6月25日	第2回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
7月 6日	第6回常任委員会を開催
9月18日	第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
8月 7日	第4回総会を開催（書面開催）
8月20日	第7回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）
8月24日	第7回競技団体担当者会議を開催
9月24日	第3回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
10月15日	日本スポーツ協会臨時国体委員会において、本県の国民スポーツ大会開催年が令和9年（2027年）に変更され、開催申請書提出順序了解県（内々定県）として再決定
11月 9日	第5回広報・県民運動専門委員会を開催
12月18日	第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月23日	第1回輸送・交通専門委員会を開催
12月24日	第3回競技運営専門委員会を開催
令和3年 1月22日	第9回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
2月15日	第7回常任委員会を開催（書面開催）
3月18日	第6回広報・県民運動専門委員会を開催
3月22日	第8回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）

年 月 日	内 容
3月23日	第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
6月 8日	第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
6月 9日	第10回総務企画専門委員会を開催
7月 5日	第8回常任委員会を開催
8月 6日	第5回総会を開催（書面開催）
10月11日	第9回市町村担当者会議・第8回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
11月22日	第2回輸送・交通専門委員会を開催
12月15日	第4回競技運営専門委員会を開催
12月17日	第2回宿泊・衛生専門委員会を開催
12月20日	第11回総務企画専門委員会を開催
12月21日	第5回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
令和4年 2月14日	第9回常任委員会を開催（書面開催）
3月16日	県議会2月定例会において「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催」を決議
3月17日	第1回式典専門委員会を開催
3月22日	第7回広報・県民運動専門委員会を開催
4月25日	第10回市町村担当者会議を開催
6月 1日	文部科学省及び日本スポーツ協会に「第81回国民スポーツ大会開催申請書」を提出
7月12日	第12回総務企画専門委員会を開催
7月14日	日本スポーツ協会第3回理事会において、「第81回国民スポーツ大会」の宮崎県開催が内定（国スポ内定に伴い第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が併せて内定）
8月22日	第10回常任委員会を開催
8月31日	第8回広報・県民運動専門委員会を開催
9月16日	第6回総会を開催（書面開催）
10月25日	第5回競技運営専門委員会を開催
11月 9日	第1回馬事衛生専門委員会を開催
11月16日	第11回市町村担当者会議を開催
11月21日	第1回イメージソング選定部会を開催
12月 6日	第6回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月 9日	第13回総務企画専門委員会を開催
12月14日	第9回広報・県民運動専門委員会を開催
12月20日	第2回式典専門委員会を開催
12月22日	第3回宿泊・衛生専門委員会を開催
令和5年 1月12日	第1回警備・消防・防災専門委員会を開催
2月 1日	第11回常任委員会を実施
2月13日	第3回輸送・交通専門委員会を開催
5月12日	第12回市町村担当者会議を開催

年 月 日	内 容
6月29日	第1回医療救護専門委員会を開催
7月 6日	第1回式典音楽部会を開催
7月12日	第14回総務企画専門委員会を開催
7月14日	第1回式典演技部会を開催
7月31日	第12回常任委員会及び第7回総会を開催
9月25日	第2回イメージソング選定部会を開催
10月 5日	第10回広報・県民運動専門委員会を開催
11月 7日	第2回馬事衛生専門委員会を開催
11月13日	第13回市町村担当者会議を開催
11月16日	第3回式典専門委員会を開催
11月17日	第2回警備・消防・防災専門委員会を開催
12月15日	第4回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）



## 第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会 会期（案）

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会会期案を次のとおりとする。

### １ 国民スポーツ大会会期（案）

希望順位	日程
１	令和９年９月２５日（土）～１０月５日（火）
２	令和９年９月２６日（日）～１０月６日（水）
３	令和９年９月１９日（日）～９月２９日（水）

### ２ 全国障害者スポーツ大会会期（案）

希望順位	日程
１	令和９年１０月２３日（土）～１０月２５日（月）
２	令和９年１０月９日（土）～１０月１１日（月）

## 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の変更

第 8 1 回国民スポーツ大会正式競技会場地市町村第 2 次選定（平成 3 1 年 1 月 3 1 日 第 3 回常任委員会決定）において選定したバレーボール競技・6 人制（少年女子）及び第 4 次選定（令和元年 7 月 1 日 第 4 回常任委員会決定）において選定した体操競技・トランポリン（全種別）並びに、第 2 6 回全国障害者スポーツ大会正式競技会場地市町村第 2 次選定（令和 3 年 7 月 5 日 第 8 回常任委員会決定事項）において選定したバレーボール競技（精神）の開催予定施設を、次のとおり変更する。

### 第 8 1 回国民スポーツ大会 正式競技

競技（種目）		種 別	市町村	開催予定施設	
				変更前	変更後
バレー ボール	6 人制	少年女子	小林市	<u>小林市市民体育館</u>	<u>（仮称）健幸のまちづ くり拠点施設</u>
体操	トラン ポリン	全種別			

### 第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 正式競技

競 技 名	障がい 種別	会場地 市町村	開催予定施設	
			変更前	変更後
バレーボール	精神	小林市	<u>小林市市民体育館</u>	<u>（仮称）健幸のまちづ くり拠点施設</u>

## 第81回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ 実施競技及び会場地市町村第3次選定

番号	実施競技	主管団体名	市町村	開催予定施設
1	3B体操	公益社団法人日本3B体操協会宮崎県支部	延岡市	新宮崎県体育館
2	ウォーキング	延岡市スポーツ推進委員協議会		新宮崎県体育館周辺
3	ウォーキング	えびの市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	えびの市	えびの市文化の杜～木崎原古戦場跡
4	健幸増進グラウンド・ゴルフ	高原町グラウンド・ゴルフ協会	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
5	スポーツウエルネス吹矢	宮崎県スポーツウエルネス吹矢協会	国富町	アリーナくにとみ
6	ミニテニス	宮崎県ミニテニス協会	綾町	綾てるはドーム
7	エンジョイエアロビック	宮崎県エアロビック連盟	木城町	木城町体育館
8	enjoy T&F GP	特定非営利活動法人都農enjoyスポーツクラブ	都農町	藤見公園陸上競技場
9	ラジオ体操	都農町スポーツ推進委員協議会		藤見公園陸上競技場
10	モルック	高千穂町教育委員会	高千穂町	国見ヶ丘 ※雨天時は高千穂町武道館
11	森林セラピーウォーキング	日之影町森林セラピー推進協議会	日之影町	TR鉄道跡地散策コース

## 第 26 回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針

第 26 回全国障害者スポーツ大会におけるオープン競技は、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（公益財団法人日本パラスポーツ協会（以下「日本パラスポーツ協会」とする）制定）に定めるもののほか、この基本方針により実施する。

### 1 趣 旨

障がい者スポーツの一層の普及・振興を図る観点から、第 26 回全国障害者スポーツ大会において、全国障害者スポーツ大会競技規則（日本パラスポーツ協会制定）に定める個人競技及び団体競技（以下「正式競技」とする）以外の競技をオープン競技として実施する。

なお、オープン競技は、正式競技の開催に支障のない範囲で実施するものとする。

### 2 募 集

広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技について、県内の関係団体等へ公募する。

### 3 運営・経費

オープン競技の実施を希望する団体（以下「実施団体」とする）は、競技会開催にあたり必要な業務について、すべての運営を行う。

また、競技会開催に係る経費については、実施団体の負担とする。

### 4 選定基準

実施するオープン競技の選定基準は、次のとおりとする。

- (1) 実施団体が、自主運営により競技会を実施できること。
- (2) 県内に出場可能な選手・チームが存在すること。
- (3) 県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。
- (4) 既設の競技施設により実施可能であること。
- (5) 原則として、第 26 回全国障害者スポーツ大会の開催期間内に実施が可能であること。

## 第 8 1 回国民スポーツ大会 記録業務基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会における競技成績等記録の収集・発表及び総合成績の算出に関する業務（以下「記録業務」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」及び「国民体育大会記録情報処理要項」に基づき行うほか、次の基本方針により実施する。

### 1 記録業務の推進

県、会場地市町村及び関係競技団体は、記録業務を分担し、相互に連携を図りながら、正確かつ迅速に記録業務を推進する。

### 2 記録本部の設置

県及び会場地市町村は、記録業務を円滑に推進するため、それぞれ記録本部を設置する。

### 3 記録システムの使用

県は、記録業務を効率的に実施するため、競技成績等記録を正確かつ迅速に処理することのできる記録システムを使用する。

### 4 その他

この方針に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

## 第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本計画

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会宿泊基本方針に基づき、県、会場地市町村及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、第８１回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第２６回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の宿泊業務を円滑に推進する。

### １ 配宿業務の実施

#### （１） 宿舎に関する調査の実施

[国スポ]

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「参加者」という。）の配宿計画の作成に資するため、県と市町村が連携し、宿舎に関する調査を実施する。

[障スポ]

参加者の配宿計画の作成に資するため、県は、宿舎に関する調査を実施する。

#### （２） 宿泊予定者数の把握

配宿計画の作成に必要な各都道府県の宿泊予定者数を把握するため、県は、各都道府県等への宿泊意向調査を実施する。

#### （３） 仮配宿計画の作成

[国スポ]

宿舎に関する調査、先催県の参加者の実績及び宿泊意向調査に基づき、県と会場地市町村が連携し、仮配宿計画（会場地市町村ごとに参加者をどの宿泊施設に割り振るかのシミュレーションを行い作成した計画をいう。以下同じ。）を作成する。

[障スポ]

宿舎に関する調査、先催県の参加者の実績および宿泊意向調査に基づき、県は、仮配宿計画を作成する。

#### （４） 宿泊施設の充足対策

[国スポ]

仮配宿計画において、会場地市町村内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）のみでは参加者の収容が困難な場合は、会場地市町村が、会場地市町村内の旅館の客室提供の促進、近隣（原則として県内）市町村旅館の利用、公共施設等の転用及び民家の利用など、必要な充足対策を行う。

なお、充足対策が円滑に遂行できるよう、必要に応じ、県及び会場地市町村等による連絡会議を設置する。

[障スポ]

仮配宿計画において、会場地市町村内の旅館のみでは参加者の収容が困難な場合は、県は、広域配宿を行うなど必要な充足対策を行う。

#### （５） 配宿計画の作成

[国スポ]

県と会場地市町村は、仮配宿計画等に基づき、市町村ごとの宿泊人数を調整の上、配宿計画を作成する。

[障スポ]

県は、仮配宿計画等に基づき、市町村ごとの宿泊人数を調整の上、配宿計画を作成する。

#### (6) 宿泊環境の整備

[障スポ]

参加者が快適に宿泊できるよう、県は、必要に応じて、宿泊支援用具等を準備するなど、宿泊環境の整備に努める。

## 2 宿泊本部の設置

[国スポ]

宿泊申込み及び変更、取消しに関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、県及び会場地市町村に宿泊本部を設置する。

[障スポ]

宿泊申込み及び変更、取消しに関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、県に宿泊本部を設置する。

## 3 宿泊料金の決定

[国スポ]

参加者の宿泊料金については、先催県の事例も参考に、県が旅館等の関係団体との協議結果を踏まえ、公益財団法人日本スポーツ協会と協議し、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

[障スポ]

参加者の宿泊料金については、国スポの宿泊料金を基本とし、旅館等の関係団体と協議し、県が決定する。

## 4 食事の提供

参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供する。

また、選手が十分に活躍できるよう食事の提供方針を作成するとともに、調理関係者等を対象に講習会を開催し、提供方針の普及に努める。

## 5 弁当の調達

[国スポ]

昼食弁当については、県及び会場地市町村が、必要に応じて調達斡旋を行う。

[障スポ]

昼食弁当については、県が、必要に応じて調達斡旋を行う。

## 6 その他

上記のほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項については、別に定める。

## 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 警備・消防・防災基本方針

### 1 趣旨

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という）における警備・消防・防災対策については、警察、消防、医療等の関係機関及び団体との緊密な連携のもとに、警備・消防・防災体制の確立を図り、安全かつ円滑な両大会の運営が行われるよう万全を期するものとする。

### 2 実施区分

#### (1) 警備対策

開・閉会式会場、競技会場、練習会場、宿泊施設及び沿道等（以下「会場等」という。）における事件・事故防止を重点とした適切な警備に関する諸対策を講じる。

また、両大会期間中には、関係機関及び団体の協力を得て、防犯対策を推進し、犯罪の防止に努める。

#### (2) 消防防災対策

会場等の火災その他の災害予防並びに災害発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

また、大会期間中の火災その他の災害予防及び発生時の被害軽減を図るため、関係機関及び団体等の協力を得て、防火・防災意識の高揚を図る。

#### (3) 大規模災害・突発重大事案対策

会場等での大規模災害及び突発重大事案発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

#### (4) 関係機関及び団体との連絡調整

県及び会場地市町村は、関係機関及び団体と緊密な連携を保つとともに、情報連絡体制を確立し、警備・消防・防災対策の円滑な推進を図る。



## 第81回国民スポーツ大会 正式競技 会場地市町村第10次選定

番号	競技（種目）		種別	市町村	開催予定施設
1	カヌー	スプリント	全種別	小林市	(仮称) 小野湖特設カヌー競技場
2	バスケットボール		少年男女	日向市	(仮称) 日向市総合体育館
				美郷町	美郷町北郷総合交流センター

## 【県外開催競技（種目）】

番号	競技（種目）		種別	市町村	開催予定施設
1	カヌー	スラローム、 ワイルドウォーター	全種別	県外	※今後調整

## 第81回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の変更

第81回国民スポーツ大会正式競技会場地市町村第2次選定(平成31年1月31日 第3回常任委員会決定)において選定したトライアスロン競技(全種別)、第4次選定(令和元年7月1日 第4回常任委員会決定)において選定したハンドボール競技(少年男子、少年女子)、サッカー競技(少年男子)及び第5次選定(令和2年2月17日 第5回常任委員会決定)において選定した水泳競技・オープンウォータースイミング(全種別)の開催予定施設を、次のとおり変更する。

番号	競技(種目)		種別	市町村	開催予定施設	
					変更前	変更後
1	トライアスロン		全種別	川南町 ↓ 宮崎市	<u>(仮称)川南漁港特設 トライアスロン会場</u>	<u>(仮称)みやざき臨海 公園特設会場</u>
2	ハンドボール		少年男女	宮崎市	宮崎市天ヶ城公園体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館	宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館
3	サッカー		少年男子	新富町	<u>(仮称)新富町フット ボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場</u>	新富町フット ボールセンター ユニリーバスタジアム新富 <u>(仮称)富田浜公園</u>
4	水泳	オープン ウォーター スイミング	全種別	延岡市	<u>(仮称)下阿蘇ビーチ 特設会場</u>	<u>(仮称)須美江海水浴場 特設会場</u>

第81回国民スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【競技別】  
【開・閉会式】

内 容	市町村	開催予定施設
総合開・閉会式	都城市	(仮称)新宮崎県陸上競技場

※荒天等により屋内で開催の場合「都城市総合文化ホール」

【正式競技】

番号	競技(種目)	種 別	市町村	開催予定施設	
1	陸上競技	全種別	都城市	(仮称)新宮崎県陸上競技場	
2	水泳	競泳	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール	
		飛込	熊本県熊本市	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	
		水球	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール	
		アーティスティックスイミング	少年女子	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール
		オープンウォータースイミング	全種別	延岡市	(仮称)須美江海水浴場特設会場
3	サッカー	成年男子	綾町	綾国際交流広場サッカー場 綾町自然休養村公園小田爪多目的競技場 綾てるはふれあい広場	
		少年女子	西都市	清水台総合公園多目的広場	
		少年男子	新富町	新富町フットボールセンター ユニリーバスタジアム新富 (仮称)富田浜公園	
4	テニス	全種別	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園庭球場	
5	ローイング	全種別	新富町	富田浜漕艇場	
6	ホッケー	全種別	都農町	都農町藤見公園	
7	ボクシング	全種別	えびの市	えびの市民体育館	
8	バレーボール	6人制	成年男子	日南市	日南市北郷体育館
			成年女子	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
			少年男子	都城市	早水公園体育文化センター
			少年女子	小林市	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設
	ビーチバレーボール	全種別	日向市	(仮称)お倉ヶ浜海岸特設会場	
9	体操	競技	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
		新体操	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
		トランポリン	全種別	小林市	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設
10	バスケットボール	成年男子	都城市	早水公園体育文化センター	
		成年女子		早水公園体育文化センター 高城運動公園総合体育館 高崎総合公園総合体育館	
		少年男女	日向市	(仮称)日向市総合体育館	
			美郷町	美郷町北郷総合交流センター	
11	レスリング	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館	
12	セーリング	全種別	日南市	日南市大堂津ヨット競技場	
13	ウエイトリフティング	全種別	小林市	小林市文化会館	
14	ハンドボール	成年男女	綾町	綾てるはドーム	
		少年男女	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館	
15	自転車	トラック	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園自転車競技場	
		ロード	全種別	串間市	(仮称)串間市特設ロードレースコース
16	ソフトテニス	成年男女	都城市	(仮称)都城運動公園庭球場	
		少年男女	宮崎市	生目の杜運動公園テニスコート	
17	卓球	全種別	宮崎市	宮崎市総合体育館	
18	軟式野球	成年男子	延岡市	西階野球場	
			日向市	お倉ヶ浜総合公園野球場	
			高鍋町	高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	
			川南町	川南町運動公園野球場	
			門川町	門川海浜総合公園野球場	
			西都市	西都原運動公園野球場	

番号	競技(種目)	種別	市町村	開催予定施設	
19	相撲	全種別	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町総合公園Gパーク五ヶ瀬ドーム	
20	馬術	全種別	綾町	綾馬事公苑	
21	フェンシング	全種別	国富町	アリーナくにとみ	
22	柔道	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
23	ソフトボール	成年男子	延岡市	西階野球場	
			門川町	門川海浜総合公園野球場	
		成年女子	宮崎市	宮崎市清武総合運動公園 SOKKENスタジアム・第2野球場	
			日向市	お倉ヶ浜総合公園 野球場・運動広場・第2多目的広場	
24	バドミントン	全種別	高鍋町	井上商店スポーツセンター高鍋町総合体育館	
25	弓道	近的	全種別	串間市	串間市民総合体育館
		遠的			(仮称) 串間市総合運動公園特設競技場
26	ライフル射撃	50m	全種別	宮崎市	宮崎県ライフル射撃競技場
		10m・AP			
		BR・BP			
		CFP	成年男子	宮崎市	宮崎県警察学校射撃場
27	剣道	全種別	高千穂町	高千穂町武道館	
28	ラグビーフットボール	7人制	成年男子	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場
			女子		
		15人制	少年男子		
29	スポーツクライミング	リード	全種別	木城町	(仮称) 木城町体育館特設会場
		ボルダリング			木城町体育館
30	カヌー	スプリント	全種別	小林市	(仮称) 小野湖特設カヌー競技場
		スラローム	全種別	県外	※ 今後調整
		ワイルドウォーター	全種別		
31	アーチェリー	全種別	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場	
32	空手道	全種別	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館	
33	銃剣道	全種別	三股町	三股町武道体育館	
34	なぎなた	全種別	日之影町	日之影町立日之影中学校体育館	
35	ボウリング	全種別	宮崎市	宮崎エースレーン	
36	ゴルフ	成年男子	宮崎市	宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部	
		女子		宮崎カントリークラブ	
		少年男子		ハイビスカスゴルフクラブ	
37	トライアスロン	全種別	宮崎市	(仮称) みやざき臨海公園特設会場	

#### 【特別競技】

番号	競技	種別	会場地	競技会場
1	高等学校野球	硬式	日南市	天福公園野球場 日南総合運動公園野球場 南郷中央公園野球場
		軟式		

#### 【公開競技】

番号	競技	種別	会場地	競技会場
1	綱引	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館
2	ゲートボール	全種別	都城市	都城運動公園陸上競技場
3	武術太極拳	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
4	パワーリフティング	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
5	グラウンド・ゴルフ	全種別	※今後調整	※ 今後調整
6	パウンドテニス	全種別	都城市	早水公園体育文化センター
7	エアロビック	全種別	木城町	木城町体育館

第81回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ実施競技及び会場地市町村選定状況一覧

【実施競技】				
番号	競技	主管団体	市町村	開催予定施設
1	ラジオ体操	宮崎市	宮崎市	宮崎市内小学校及び公園等
2	少林寺拳法	宮崎県少林寺拳法連盟	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館
3	BMX・スケートボード	宮崎ストリートスポーツ振興協会	宮崎市	宮崎県祇園スポーツパーク
4	ビリヤード	宮崎県ビリヤード協会	宮崎市	Billiards & Games POOL
5	パークゴルフ	宮崎県パークゴルフ協会	都城市	かかしの里パークゴルフ場 高崎パークゴルフ場
6	3B体操	公益社団法人日本3B体操協会宮崎県支部	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
7	ウォーキング	延岡市スポーツ推進委員協議会	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ周辺
8	ターゲット・パードゴルフ	宮崎県ターゲット・パードゴルフ協会	日南市	日南市星倉地区運動広場
9	ソフトバレーボール	小林地区バレーボール協会	小林市	小林市市民体育館
10	サーフィン	日向市サーフィン連盟	日向市	お倉ヶ浜海水浴場
11	少年・少女レスリング	一般社団法人串間スポーツクラブ	串間市	串間市民総合体育館
12	ジュニアサッカー	一般社団法人串間スポーツクラブ	串間市	串間市総合運動公園 (串間市宮陸上競技場・串間市営運動広場)
13	少年サッカー	西都市スポーツランド推進協議会 Jリーグ等サッカー協力部会	西都市	清水台総合公園多目的広場
14	ウォーキング	えびの市総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会	えびの市	えびの市文化の杜～木崎原古戦場跡
15	ノルディックウォーキング	三股町社会福祉協議会	三股町	元気の杜広場～町内各地区
16	健幸増進グラウンド・ゴルフ	高原町グラウンド・ゴルフ協会	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
17	スポーツウエルネス吹矢	宮崎県スポーツウエルネス吹矢協会	国富町	アリーナくにとみ
18	ミニテニス	宮崎県ミニテニス協会	綾町	綾てるはドーム
19	フレッシュグラウンド・ゴルフ	高鍋町グラウンド・ゴルフ協会	高鍋町	小丸河畔運動公園
20	ユニカール	宮崎県ユニカール協会	新富町	新富町体育館
21	ウォーキング	西米良村スポーツ協会	西米良村	西米良村中心部(屋外)
22	ミュージックレクリエーション	西都市レクリエーション協会	西米良村	西米良村トレーニング施設等
23	エンジョイ エアロビック	宮崎県エアロビック連盟	木城町	木城町体育館
24	enjoy T&F GP	特定非営利活動法人都農 enjoyスポーツクラブ	都農町	藤見公園陸上競技場
25	ラジオ体操	都農町スポーツ推進委員協議会	都農町	藤見公園陸上競技場
26	ラジオ体操	門川町PTA協議会	門川町	門川町内3小学校 (門川町立門川小学校・草川小学校・五十鈴小学校)
27	AJTAスポーツ玉入れ	AJTA九州 (全日本玉入れ協会九州協会)	諸塚村	諸塚村民体育館
28	トレッキング	椎葉村教育委員会	椎葉村	扇山登山道
29	キャッチング・ザ・スティック	宮崎県レクリエーション協会	美郷町	美郷町北郷総合交流センター
30	ポッチャ	宮崎県レクリエーション協会	美郷町	美郷町北郷総合交流センター
31	ラダーゲッター	宮崎県レクリエーション協会	美郷町	美郷町北郷総合交流センター
32	モルック	高千穂町教育委員会	高千穂町	国見ヶ丘 ※雨天時は高千穂町武道館
33	森林セラピーウォーキング	日之影町森林セラピー推進協議会	日之影町	TR鉄道跡地散策コース
34	フロアカーリング	五ヶ瀬町教育委員会	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町総合公園Gパーク 五ヶ瀬ドーム

## 第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【競技別】

### 【開・閉会式】

内 容	市町村	開催予定施設
開・閉会式	都城市	(仮称) 新宮崎県陸上競技場

※荒天等により屋内で開催の場合「都城市総合文化ホール」

### 【実施競技】

番号	競技(種目)	障がい種別	市町村	開催予定施設
1	陸上競技	身体・知的	都城市	(仮称) 新宮崎県陸上競技場
2	水泳	身体・知的	宮崎市	(仮称) 新宮崎県プール
3	アーチェリー	身体	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
4	卓球 (サウンドテーブルテニス含む)	身体・知的・精神	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市中央公民館
5	フライングディスク	身体・知的	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場
6	ポッチャ	身体	都城市	早水公園体育文化センター
7	ボウリング	知的	宮崎市	宮崎エースレーン
8	バスケットボール	知的	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
9	車いすバスケットボール	身体	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
10	ソフトボール	知的	日向市	お倉ヶ浜総合公園
11	グランドソフトボール	身体	—	—
12	バレーボール	身体	都城市	早水公園体育文化センター
		知的	日南市	日南市北郷体育館
		精神	小林市	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設
13	サッカー	知的	新富町	新富町フットボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場
14	フットソフトボール	知的	延岡市	西階公園

### 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【市町村別】

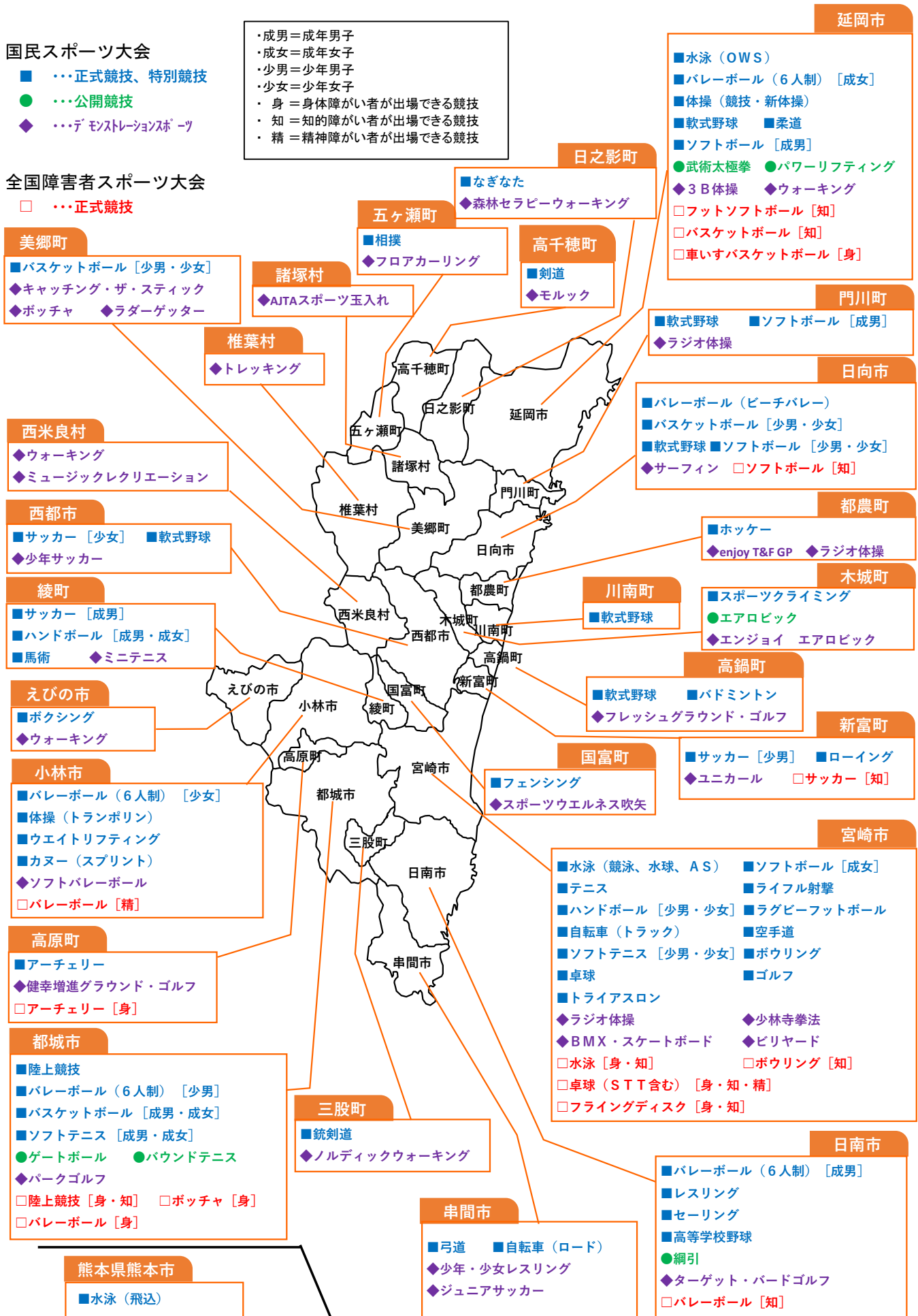
#### 国民スポーツ大会

- …正式競技、特別競技
- …公開競技
- ◆ …デモンストレーションスポーツ

- ・成男=成年男子
- ・成女=成年女子
- ・少男=少年男子
- ・少女=少年女子
- ・身=身体障がい者が出場できる競技
- ・知=知的障がい者が出場できる競技
- ・精=精神障がい者が出場できる競技

#### 全国障害者スポーツ大会

- …正式競技



## 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 文化プログラム実施基本計画

「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会文化プログラム実施基本方針」に基づき、関係団体や県・市町村等が連携し、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会文化プログラム（以下「文化プログラム」という。）を推進する。

### 1 取組の方向性及び目的

- (1) 文化プログラムを通じた第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）への関心の向上  
文化プログラムを通じて、スポーツへの関心が低い人にも大会を認知してもらい、観戦やボランティアなど様々な形での大会参加を促進し、県民総参加型の大会を目指す。
- (2) 大会を契機とした本県の多彩な魅力の発信  
文化プログラムの推進を通じて、芸術や地域において継承されてきた伝統文化等の魅力を幅広く発信し、地域の活性化につなげる。

### 2 具体的な取組

- (1) スポーツに関する文化・芸術事業の展開  
特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会をはじめとする関係団体と連携し、スポーツに関する文化・芸術事業を実施する。
- (2) 本県の文化・芸術等を発信する事業の展開  
県や市町村等の主催による事業や文化施設等と連携した事業を実施する。
- (3) その他文化プログラムの目的に沿うと認められる事業の展開  
前2号のほか、文化プログラムの目的に沿う事業に関する情報を幅広く発信する。

### 3 効果的な情報発信

- (1) 多様なメディアによる情報発信
  - ・新聞、テレビ、ラジオ等による情報発信
  - ・県及び市町村の広報媒体の活用
  - ・ホームページやSNS等の活用
- (2) イベント等の機会を活用した情報発信
  - ・大会啓発イベント等の機会の活用
  - ・県民運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携
- (3) 文化プログラムパンフレット等の作成
  - ・県内外の選手、関係者等への配布



【参考】今後のスケジュール

年度	令和5年 (開催4年前)	令和6年 (開催3年前)	令和7年 (開催2年前)	令和8年 (開催1年前)	令和9年 (開催年)
内容	基本計画策定	実施要項策定  県庁各課、市町村、関係団体への説明協力依頼	主催事業の検討  募集ポスター・チラシ作成 <b>【募集】</b>	事業決定  選定→日本スポーツ協会への申請→承認 パンフレット等作成・配布	<b>【大会開催】</b>  主催事業実施  <b>【文化プログラム終了】</b>

## 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 文化プログラム実施基本方針

### 1 目 的

多くの県民が文化・芸術活動を通して第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に参加することで、開催機運を盛り上げるとともに、県民総参加型の大会を目指す。

あわせて、神話や伝統文化、豊かな自然や食、充実したスポーツ環境等、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信する。

### 2 内 容

文化プログラムの内容は、次のいずれかに該当し、県が認めたものとする。

- (1) スポーツに関する文化・芸術事業
- (2) 本県の文化・芸術等を発信する事業
- (3) その他文化プログラムの目的に沿うと認められる事業

### 3 実 施 者

文化プログラムの事業を実施できるものは、次のとおりとする（宗教団体、政治団体は除く）。

- (1) 公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、県、市町村及び特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会
- (2) 公益法人又はこれに準ずる団体
- (3) 通信、新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関
- (4) その他、県が上記各号に準ずると認めるもの。

### 4 期 間

文化プログラムの実施期間は、原則として、大会開催年の1月1日から12月31日までとする。

### 5 開 催 地

文化プログラムは原則として県内で実施する。

### 6 経 費 負 担

文化プログラムの実施に係る経費は、3に定める各事業の実施者が負担する。

第26回全国障害者スポーツ大会  
正式競技 開催予定施設の名称変更

第26回全国障害者スポーツ大会正式競技において開催予定施設の名称に変更があったことから、以下のとおり報告する。

競技名	障がい種別	会場地 市町村	開催予定施設	
			変更前	変更後
バスケットボール	知的	延岡市	<u>(仮称) 新宮崎県体育館</u>	<u>アスリートタウン 延岡アリーナ</u>
車いすバスケット ボール	身体			
サッカー	知的	新富町	<u>(仮称) 新富町フット ボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場</u>	新富町フット ボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場

## ひなたのチカラ

まつおか しげき  
作詞：松岡 茂樹

## 【1番】

はじ とき ころろ き は かな みやざき  
 始まりの時に 心に決めたのは 羽ばたくことを 叶えること ここ 宮崎で

たいよう のぼ だいち て い ゆめ ぶたい む きみ  
 太陽が昇り 大地を照らし いざ行こうと 夢の舞台へ 向かう君がいる

みらい みち ふ いっぽいっぽ おも の すす  
 未来への道を 踏みしめて 一步一步 想いを乗せて 進んでいこう

きみ  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ

みやざき いちど  
 ここ 宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

## 【2番】

かがや とき ころろ おど ゆめ かな つよ おも みやざき  
 輝く時に 心が躍るのは 夢を叶えることを 強く想うこと ここ 宮崎で

たいよう きみ しんわ ぶたい ひかり きみ  
 太陽がテラス 君をテラス アマテラス 神話の舞台で 光となる君

ま ひ おも ひと きぼう も ひ  
 負けるなど 引きしめる 想いは一つ 希望を持った あの日のために

きみ  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ

みやざき いちど  
 ここ 宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

## 【3番】

つむ とき ころろ ひと しん みやざき  
 紡いだ時に 心は一つになる ひなたはあなたを 信じていたから ここ 宮崎で

たいよう めぐ うみ さち やま さち ゆた しぜん は ぶたい  
 太陽の恵み 海の幸に 山の幸に 豊かな自然 晴れの舞台に

かんしゃ きも か ひとりひとり えがお  
 ありがとう 感謝の気持ち 噛みしめた 一人一人に 笑顔のギフト

きみ  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ

みやざき いちど  
 ここ 宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

も つづ ひむか  
 持ち続けよう 日向のチカラ ひなたのチカラ



紡ぐ感動 神話となれ

# 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

～イメージソング～

## 曲募集

賞  
金

最優秀賞作品 1点

# 20万円

※受賞者が中学生以下の場合、賞金相当額の図書カード

募集期間

令和5年10/20(金) ▶ 12/25(月) 【当日消印有効】

応募資格

アマチュアの方限定(グループでの応募も可)

※本募集における「アマチュア」とは、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)など、著作権管理業者に著作権管理を委託していない方です。

この歌詞にメロディーをつけてください♪

題名「ひなたのチカラ」

[1番] はし ころ とき ころ 心に決めたのは 羽ばたくことを 叶えること ここ宮崎で  
 太陽が昇り 大地を照らし いざ行こうと 夢の舞台へ 向かう君がいる  
 未来への道を 踏みしめて 一步一步 想いを乗せて 進んでいこう  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ  
 ここ宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

[2番] 輝く時に 心が踊るのは 夢を叶えることを 強く想うこと ここ宮崎で  
 太陽がテラス 君をテラス アマテラス 神話の舞台で 光となる君  
 負けるなと 引きしめる 想いは一つ 希望を持った あの日のために  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ  
 ここ宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

[3番] 紡いだ時に 心は一つになる ひなたはあなたを 信じていたから ここ宮崎で  
 太陽の恵み 海の幸に 山の幸に 豊かな自然 晴れの舞台に  
 ありがとう 感謝の気持ち 噛みしめた 一人一人に 笑顔のギフト  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ  
 ここ宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ  
 も 持ち続けよう 日向のチカラ ひなたのチカラ

問い合わせ先

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会事務局  
 <宮崎県総合政策部 国スポ・障スポ準備課 広報・県民運動担当(県庁4号館4階)>  
 E-Mail kokuspo-shospo-kouhou@pref.miyazaki.lg.jp

電話: 0985-26-7390 FAX: 0985-24-1723

宮崎 国スポ 障スポ 検索



# 募集要項

## 1 趣旨

2027年(令和9年)に第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会(以下「大会」という。)が、愛称「日本(にっぽん)のひなた宮崎 国スポ・障スポ」スローガン「紡(つむ)ぐ感動 神話となれ」のもと、宮崎県で開催されます。

そこで、大会を県内外へ周知し、参加・協力へつなげていくとともに、県民や来県される皆様が楽しみ、親しみを感じていただけるものとするため、イメージソングを制作することとし、その曲を募集します。

## 2 募集内容 大会のイメージソングとして使用する曲

- (1) 以下「3」に掲載する歌詞を使用し、大会愛称「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」及び大会スローガン「紡ぐ感動 神話となれ」をイメージできるもの
- (2) 宮崎県の魅力が発信でき、印象に残るもの
- (3) 幅広い年齢層にとって歌いやすく、覚えやすいメロディであるもの(曲が決定した後はダンス等を制作し大会をPRしていく予定です。)
- (4) 自作未発表のもの
- (5) 曲の長さは4分程度であるもの

## 3 歌詞

1 はしり 始まりの時に 心に決めたのは 羽ばたくことを 叶えること ここ宮崎で  
 太陽が昇り 大地を照らし いざ行こうと 夢の舞台へ 向かう君がいる  
 未来への道を 踏みしめて 一步一步 想いを乗せて 進んでいこう  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ  
 ここ宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

2 輝く時に 心が踊るのは 夢を叶えることを 強く想うこと ここ宮崎で  
 太陽がテラス 君をテラス アマテラス 神話の舞台で 光となる君  
 負けるなと ひきしめる 想いは一つ 希望を持った あの日のために  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ  
 ここ宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ

3 紡いだ時に 心は一つになる ひなたはあなたを 信じていたから ここ宮崎で  
 太陽の恵み 海の幸に 山の幸に 豊かな自然 晴れの舞台に  
 ありがとう 感謝の気持ち 噛みしめた 一人一人に 笑顔のギフト  
 君のチカラと あなたのチカラ みんなのチカラ ひなたのチカラ  
 ここ宮崎で もう一度ありがとう ひなたのチカラ  
 持ち続けよう 日向のチカラ ひなたのチカラ

## 4 応募方法

- (1) 次のア～ウを応募先まで郵送で送付または、持参してください。
    - ※ 郵送の場合は募集期間最終日の当日消印有効
    - ※ 持参の場合の受付は閉庁日(土・日・祝日)を除く8時30分から17時15分まで
  - ア 音源
    - ・録音したCD-R[wav又はmp3形式](レーベル面に応募者名を記入すること)
    - ・伴奏の有無は問いませんが、歌は必ず入れてください。(歌唱者は応募者以外でも可)
  - イ 歌詞とテンポを記入したメロディ譜がある場合は送付してください。
  - ウ 応募票(応募作品ごとに1枚)
- (2) 応募作品(曲)は応募者本人(または応募グループ)の自作未発表の作品で、他のコンテスト等に応募したり各種媒体に使用していないもの。
  - (3) 一人何点でも応募できます。ただし、それぞれ異なる作品に限ります。
  - (4) 応募にかかる費用は、すべて応募者の負担になります。郵便による応募の場合は、切手のないもの等は受け付けません。

## 5 応募先

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号  
 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会事務局  
 (宮崎県総合政策部 国スポ・障スポ準備課内) 広報・県民運動担当  
 TEL: 0985(26)7390 FAX: 0985(24)1723

## 6 審査及び発表

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会(以下、「県準備委員会」という。)において審査し、最優秀賞作品を決定します。

最優秀賞作品の発表は、令和6年3月下旬頃に受賞者へ直接連絡するほか、ホームページなどで公表します。また、表彰については、別途本人に通知します。

## 7 イメージソングの活用例

- (1) 大会の開・閉会式、各競技会場、各種PRイベントなどでの演奏や歌唱
- (2) 地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室、大会開・閉会式及び競技会場等でのBGMとして使用
- (3) 合唱や吹奏楽用に編曲した楽譜を県内の学校等に配布
- (4) イメージソングに合わせたダンス等を制作し、学校や職場、地域の行事等で活用
- (5) その他、大会の広報活動に広く使用

## 8 その他

- (1) 歌唱者については、別途、県準備委員会において決定します。
- (2) 採用作品の著作権は、著作人格権(著作権法第18条第1項、第19条第1項および第20条第1項に規定する規定する権利)を行使しないものとします。
- (3) 採用作品の著作権(著作権法第21条から第28条までに規定する権利)その他一切の権利は、県準備委員会に帰属します。
- (4) 採用作品は補作することがあります。また、用途に応じて編曲することがあります。
- (5) 応募作品について著作権等に関わる問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。
- (6) 本要項の規定に反する作品は、審査の対象となりません。また、後日違反が判明した場合は、採用を取り消します。
- (7) 採用作品以外の著作権は著作者に帰属しますが、審査の過程で全ての応募作品を複製することがあります。
- (8) 応募作品は返却しません。
- (9) 本募集において、県準備委員会が応募者から取得した個人情報については、本事業実施に関わる事務以外には使用しません。ただし、採用作品の応募者(グループの場合はメンバー)の氏名、年齢、職業(学校名)等は本人合意の上、公表させていただきます。
- (10) 応募の時点で、この募集要項の記載事項に同意したものとします。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ イメージソング曲 応募票

ふりがな			
氏名 (作曲者)	※グループでの応募の場合は、その代表者の氏名を記入してください。		
ふりがな			
グループ名	※グループでの応募の場合のみ記入してください。		
住所	〒		
電話番号	年齢	歳	
職業 (学校名・学年)			
応募作品 説明	※作品や宮崎県への思いなど重要視した点を、自由に記入してください。		

# 「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」 専用ウェブサイト開設！



<https://hinata-miyazaki-sports2027.jp/>

2027年に宮崎県で開催される「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」(第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会)に向けて、専用ウェブサイトを開設しました。

大会に関する情報を広く発信します。



専用ウェブサイト

公式SNSでも大会に関する情報を配信中♪



X(Twitter)

名前 : 2027日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ  
ユーザー名: @miyazakikokuspo



X(Twitter)



Instagram

名前 : 2027日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ  
ユーザー名: miyazaki2027



instagram

紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会 2027 第26回全国障害者スポーツ大会

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号  
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会事務局 <宮崎県総合政策部 国スポ・障スポ準備課>  
TEL : 0985-26-7390 FAX : 0985-24-1723

# 第81回国民スポーツ大会・ 第26回全国障害者スポーツ大会

## 式典基本構想



つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

令和5年2月1日

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

宮 崎 県 準 備 委 員 会



## 目 次

式典基本構想策定にあたって	1
1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	2～3
2 式典の概要	4
(1) 式典テーマ	
(2) 式典の基本的な考え方	
3 総合開会式・開会式の概要	5～6
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成及び次第	
4 総合閉会式・閉会式の概要	6～7
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成及び次第	
5 各競技会の表彰式	8
(1) 基本的な考え方	
(2) 実施方法等	
6 炬火イベント	8
(1) 基本的な考え方	
(2) 展開イメージ	
7 式典業務に係る今後のスケジュール	9
参考資料	11～19

## 式典基本構想策定にあたって

国民体育大会（令和6年（2024年）から「国民スポーツ大会」に名称変更）は、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国内最大のスポーツの祭典として広く親しまれ、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの推進と地方文化の発展等に寄与してきました。

宮崎県では、昭和54年（1979年）に「伸びる心 伸びる力 伸びる郷土」をスローガンとして、第34回国民体育大会「日本のふるさと宮崎国体」を開催し、本県選手団の活躍や県民総参加で大会を支えた誇りと自信は、明るく豊かな宮崎を築く原動力となり、本県のスポーツ振興はもとより、その後の県勢発展に大きく貢献しました。また、同年には、「ふれあう心 あふれる力 のびゆく郷土」をスローガンに、第15回全国身体障害者スポーツ大会を開催し、障がい者が力強く競技する姿が多くの県民に大きな感動を与えました。

そして、前回開催から48年ぶりとなる令和9年（2027年）に、第81回国民スポーツ大会と第26回全国障害者スポーツ大会（前身の「全国身体障害者スポーツ大会」を含む。）を「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」として宮崎県で開催します。

特に、総合開・閉会式をはじめとする両大会の式典は、全国から多くの役員・選手団が集う中で、宮崎のあらゆる魅力を全国に発信できる絶好の機会であることから、県民総参加のもと、“おもてなしの心”で温かく迎えるとともに、参加したすべての人が心の絆を深める場にしたいと考えています。

そこで、こうした考え方を具現化し、式典全体の共通指針として基本的な方向等を明らかにするため、この「式典基本構想」を策定します。



昭和54年 日本のふるさと宮崎国体 秋季大会 開会式（宮崎県総合運動公園陸上競技場）

# 1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

## ◆大会名・開催時期・実施競技◆

### 第81回国民スポーツ大会

開催時期：令和9年（2027年）9月中旬から10月中旬の11日間

実施競技：正式競技 37競技

特別競技 1競技

公開競技 7競技

デモンストレーションスポーツ 23競技（令和4年2月現在）

### 第26回全国障害者スポーツ大会

開催時期：令和9年（2027年）国民スポーツ大会後の3日間

実施競技：正式競技 14競技

オープン競技 未定

## ◆愛称・規定書体◆

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

### 【趣旨】

宮崎県の温暖な気候、温かい県民性を「ひなた」と表現し、大会に参加する選手たちの「ひなた」のような輝きによって、全国に元気・勇気・感動を広げる大会を目指します。

### 【規定書体意図】

神話の国・宮崎というテーマのもと、赤は降り注ぐ太陽、緑は自然豊かな山々、青は日向灘を表現しています。

「日本のひなた宮崎」は、一本の紐で描かれた形で表現し、日本古来の“和”をイメージしており、「国スポ・障スポ」は、スポーツの爽やかさの中に神話を思われる勾玉を交えて構成しています。

## ◆スローガン◆

紡ぐ感動 神話となれ

### 【趣旨】

大会を通して生まれる絆や感動が、「神話」のように語り継がれる大会になってほしいとの思いが込められています。

## ◆マスコットキャラクター◆



「ひい」くん 「むう」ちゃん 「かあ」くん  
みやざき犬

### 【みやざき犬について】

「みやざき犬」は、宮崎県のシンボルキャラクターとして、平成23年に公募により誕生しました。

宮崎県の特産品やゆかりのかぶりもの（日向夏・フェニックス・地鶏）をかぶって宮崎をPRし、広く県民に親しまれています。

大会マスコットキャラクターとして、開催年である「2027」をデザインしたランニングシャツを着用し、大会を象徴する炬火を掲げて、宮崎県における大会開催を県内外に広く情報発信しています。



昭和54年 日本のふるさと宮崎国体 秋季大会 開会式（宮崎県総合運動公園陸上競技場）

## 2 式典の概要

式典は、両大会の開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。

「国民体育大会開催基準要項」、「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」、「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想」及び「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会式典基本方針」に定められた内容を踏まえ、国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の融合を図り、「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」にふさわしい式典を目指します。

### (1) 式典テーマ

紡ぐ感動 神話となれ



### (2) 式典の基本的な考え方

① 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元気・勇気・感動を共有できる式典とする。

- ・ 「チームみやざき」の一員である県民がそれぞれの立場で関わり、創り上げる式典を目指します。
- ・ 両大会を通じて生まれた元気・勇気・感動を参加者全員で共有できる式典を目指します。

② 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。

- ・ 企画や演出によって式典テーマを具現化し、宮崎ならではの魅力を広く全国に発信する式典を目指します。
- ・ 県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、参加するすべての人の記憶に残る式典を目指します。

③ アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

- ・ 参加する選手の負担軽減を考慮し、アスリートファーストの視点に立った式典を目指します。
- ・ 簡素化を図りながらも創意工夫を凝らし、宮崎らしさを生かした式典を目指します。

### 3 総合開会式・開会式の概要

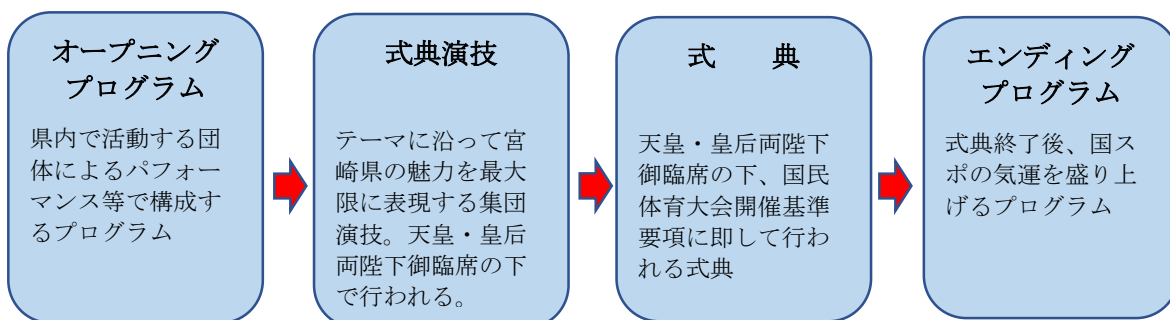
#### (1) 基本的な考え方（兩大会共通）

- ・ 様々な形で参加した県民から、選手や参加者へエールを送り、元気・勇気・感動を共有できる内容とします。
- ・ 宮崎の魅力を表現し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る内容とします。
- ・ アスリートファーストの視点から、参加する選手の負担軽減を第一に考え、式典時間の短縮や演出方法等を検討し、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした内容とします。

#### (2) 構成及び次第

##### ① 日本のひなた宮崎国スポ 総合開会式

- ・ 総合開会式は、オープニングプログラム、式典演技、式典、エンディングプログラムで構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



- ・ 次第（総合開会式における式典の流れ）

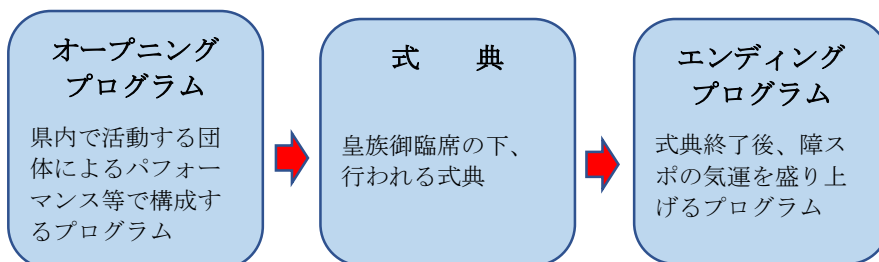
1	開式通告
2	役員・選手団入場
3	開会宣言（宮崎県知事）
4	国旗掲揚
5	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
6	宮崎県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚
7	天皇杯・皇后杯返還
8	大会会長あいさつ
9	文部科学大臣あいさつ
10	天皇陛下お言葉
11	炬火入場・点火
12	選手代表宣誓
13	閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

② 日本のひなた宮崎障スポ 開会式

- ・ 開会式は、オープニングプログラム、式典、エンディングプログラムで構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



- ・ 次第（開会式における式典の流れ）

1 開式通告	7 皇族お言葉
2 役員・選手団入場	8 炬火入場・点火
3 開会宣言・大会会長あいさつ	9 選手代表宣誓
4 国旗掲揚	10 歓迎演技
5 大会旗・宮崎県旗掲揚	11 閉式通告
6 文部科学大臣あいさつ	

## 4 総合閉会式・閉会式の概要

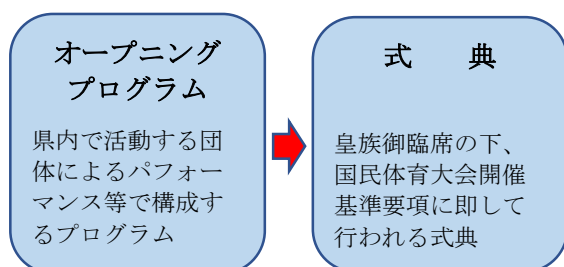
### (1) 基本的な考え方（両大会共通）

- ・ 元気・勇気・感動を与えてくれた選手の健闘を称えるとともに、大会を支えてくれたすべての人に感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ・ 国スポ・障スポを通じて生まれた交流の輪を大切にし、さらに深める内容とします。
- ・ 次期開催の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会へつなげる内容とします。


### (2) 構成及び次第

① 日本のひなた宮崎国スポ 総合閉会式

- ・ 総合閉会式は、オープニングプログラムと式典で構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



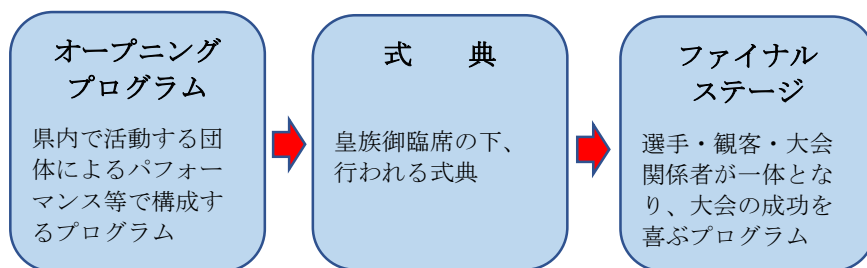
・ 次第（総合閉会式における式典の流れ）

1 開式通告	
2 役員・選手団入場	
3 成績発表	
4 表彰状授与	
5 天皇杯・皇后杯授与	
6 大会会長あいさつ	
7 スポーツ庁長官あいさつ	
8 宮崎県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納	
9 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納	
10 国旗降納	
11 炬火分火・納火	
12 国スポ旗引継	
13 長野県旗掲揚	
14 閉会宣言（宮崎県知事）	
15 閉式通告	

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

② 日本のひなた宮崎障スポ 閉会式

- ・ 閉会式は、オープニングプログラム、式典、ファイナルステージで構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



・ 次第（閉会式における式典の流れ）

1 開式通告	6 国旗降納
2 大会会長あいさつ	7 大会旗引継
3 スポーツ庁長官あいさつ	8 炬火納火
4 皇族お言葉	9 閉会宣言（宮崎県知事）
5 大会旗・宮崎県旗降納	10 閉式通告



## 5 各競技会の表彰式

### (1) 基本的な考え方

- ・ 元気・勇気・感動を与えてくれた選手たちの健闘を称える内容とします。
- ・ 宮崎らしさや各市町村の特色を生かした内容とします。

### (2) 実施方法等

- ・ 各競技会の表彰式は、会場地市町村が競技団体と協議の上、実施します。

#### 【国民体育大会開催基準要項細則】(抜粋)

#### 9 本則第20項第5号(各競技会表彰式の要領)

各競技会の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

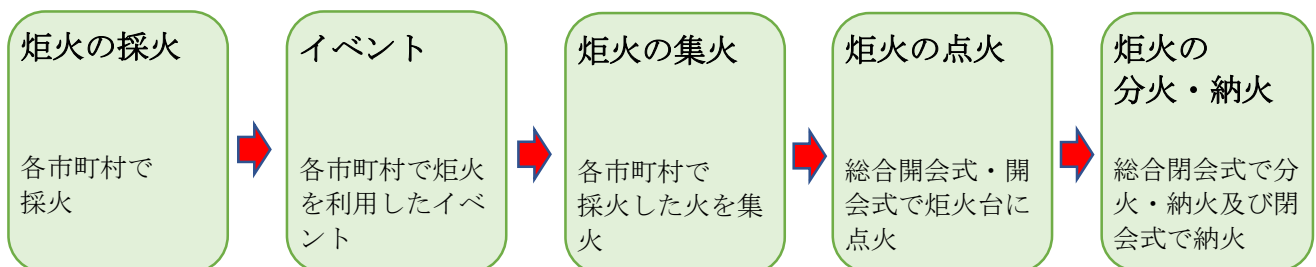
- ・ 成績発表
- ・ 表彰状授与
- ・ 大会会長トロフィー授与
- ・ 競技会会長閉会のあいさつ
- ・ 会場地代表歓送のことば
- ・ 国旗降納
- ・ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

## 6 炬火イベント

### (1) 基本的な考え方

- ・ 「チームみやざき」の一員である県民の誰もが参加しやすいものとし、国スポ・障スポ開催に向けた気運を高める内容とします。
- ・ 各市町村の特色を生かし、創意工夫を凝らした宮崎の魅力があふれる内容とします。

### (2) 展開イメージ



いいきき茨城ゆめ国体 採火式・集火式の様子

## 7 式典業務に係る今後のスケジュール

年度 逆年	令和3(2021) 6年前	令和4(2022) 5年前	令和5(2023) 4年前	令和6(2024) 3年前	令和7(2025) 2年前	令和8(2026) 1年前	令和9(2027) 開催年
全体計画	式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項	式典運営業務	
式典運営全般	式典の基本理念 開・閉会式の構成 式典の企画・運営	式典のテーマイメージ、方向性 基本的な考え方 式次第検討	式典のテーマイメージ、方向性 基本的な考え方 式次第検討	実施本部体制構築 全体スケジュール、式次第決定 式次第協議(JSPO) 選手団募集範囲検討 動線計画 荒天時計画 放送・音響計画 表彰式計画 市町村との連絡調整	総合練習会計画検討、策定 選手団募集範囲決定 役員・選手団入退場計画 アナウンサー選定 音響機器・映像システム整備計画 放送業務要領 (リハーサル大会実施)	式典運営	
競技会表彰式	基本的な考え方	基本的な考え方	基本的な考え方 競技会表彰式基準要項	基本的な考え方 競技会表彰式基準要項	基本的な考え方 競技会表彰式基準要項		
炬火イベント	基本的な考え方	基本的な考え方 炬火イベント基本方針 採火・集火方法検討 炬火用具デザイン検討(公募の有無等)	基本的な考え方 炬火イベント基本方針 採火・集火方法検討 炬火用具デザイン検討(公募の有無等)	採火方法検討 点火・分火・納火の演出検討 炬火用具デザイン決定	炬火演出決定 炬火走者決定 炬火用具制作・整備	炬火台整備 炬火イベント実施	
OP EP	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	
式典音楽	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	
式典演技	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	先催県からの情報収集	
委員会開催予定回数	1回	1回	1回	2回	2回	2回	1回
開催県	三重県(中止)	栃木県	鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県	宮崎県

### 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 本大会開催 式典総合練習会・リハーサル



# 參考資料

## 国民体育大会開催基準要項(式典関係抜粋)

(令和4年6月7日改定 公益財団法人日本スポーツ協会)

### 20 大会の式典

#### 【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として60分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

総合開会式 開会宣言  
国旗掲揚  
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚  
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚  
天皇杯・皇后杯返還  
大会会長あいさつ  
文部科学大臣あいさつ  
天皇陛下お言葉  
炬火点火  
選手代表宣誓

総合閉会式 成績発表  
表彰状授与  
天皇杯・皇后杯授与  
大会会長あいさつ  
スポーツ庁長官あいさつ  
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納  
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納  
国旗降納  
炬火納火  
国体旗引継 (第78回大会以降は、「国スポ旗引継」)  
次期開催県旗掲揚  
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第8項により実施することができる。

## 2 1 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。
- (4) 第 78 回大会以降は、「国体旗」を「国スポ旗」という。

## 2 2 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

## 全国障害者スポーツ大会開催基準要綱(式典関係抜粋)

(令和4年4月1日改正 公益財団法人日本パラスポーツ協会)

### 5. 大会開催の基本方針

- (1) 大会は、毎年1回開催し、各都道府県の持ち回りとする。
- (2) 大会は、毎年実施される国民体育大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。
- (3) 大会会期は、国民体育大会本大会の開催決定にあわせて、開催3年前までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- (4) 競技別会期は、開催2年前の年度末までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- (5) 大会における競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及びJPSA登録競技団体等が主管する。
- (6) 大会における競技施設は、原則として、国民体育大会本大会の会場を使用する。

### 16. 式典

開会式及び閉会式は、できるだけ簡素なものとする。

# 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想（抜粋）

（令和3年2月15日 第7回常任委員会決定）

## 《第3章》

### 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針

#### 1 基本方針

宮崎県は、温暖な気候や恵まれた自然、快適なスポーツ環境を生かしたスポーツチームのキャンプや合宿を通して、多くの選手や観光客が訪れるなど、スポーツが地域振興の大きな柱となっています。

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の開催を契機として、競技力の向上や地域スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいつくりに取り組むとともに、障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を進めます。

また、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信するとともに「スポーツランドみやざき」の全県展開など、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

#### 2 実施目標

##### （1）「チームみやざき」で創りあげる大会

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会を目指します。

##### （2）スポーツの素晴らしさを体感できる大会

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいつくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指します。

##### （3）宮崎県の魅力を全国に発信する大会

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信します。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とします。

##### （4）「未来のみやざき」づくりを進める大会

大会の開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。



### (5) 共に支え合う社会づくりを進める大会

スポーツを通じた交流の拡大や障がい者が主体的にスポーツに取り組む環境の整備を図ることで、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進するとともに、誰もが互いに尊重し、支え合って生きる社会づくりに貢献する大会とします。

## 《第4章》

### 「実施目標」の具体的な取組

#### 1 「チームみやざき」で創りあげる大会

##### (1) 県民運動の推進

- 県民に対し様々な機会を通じて、各種の広報媒体を活用した広報活動等を行うことにより開催機運の醸成を進め、すべての県民が様々な形で自発的、積極的に大会に参加・協力する“おもてなしの心”あふれる県民運動を展開します。
- 県、市町村、関係機関・団体と連携し、大会の開催準備を進めていきます。

##### (2) ボランティア活動等の推進

- 総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍するボランティアを養成し、ボランティア活動への参加を推進します。
- 競技会を円滑に運営するため、会場地市町村や各競技団体等と連携し、競技役員等の計画的な養成を図ります。

##### (3) 県内各地での競技会の開催

- 全県的な開催機運の醸成を図るため、また、多くの県民が多様なスポーツに親しむ機会となるよう、可能な限り県内各地で競技会を開催します。

#### 2 スポーツの素晴らしさを体感できる大会

##### (1) 競技力の向上

- 関係機関・団体等、官民一体で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の整備・充実を図ります。
- 全体的な競技力向上を図るとともに、本県選手団の更なる強化のため、ジュニア期からの選手の発掘・育成・強化、有望選手の確保等の取組を推進し、全国大会や国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に取り組みます。
- 成年選手、女子選手の活動を支援する体制の整備・充実に努めます。
- スポーツ医・科学的な面から選手をサポートするほか、練習施設・用具の整備などの取組を推進し、練習環境の整備・充実に努めます。

## **(2) スポーツを支える人材の育成**

- 指導者の養成・資質の向上や一貫指導体制の確立など、計画的・効果的な指導体制の充実・強化等に取り組みます。

## **(3) 健康増進や生きがいつくりの推進**

- 大会を契機に、県民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツの習慣化に努め、県民の健康増進や生きがいつくりを推進します。
- 豊かで充実した人生100年時代を迎える中で、生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

# **3 宮崎県の魅力を全国に発信する大会**

---

## **(1) 宮崎県の多彩な魅力の発信**

- 神話や伝統文化、豊かな自然や食、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を観光関連団体等と連携しながら、各種の広報媒体を活用した広報活動等を通して全国へ発信します。
- 競技会会場となる市町村をはじめ、周辺市町村へも来県者等が訪れるよう市町村等と連携し、地域の魅力発信に取り組みます。

## **(2) 来県者等へのおもてなしの推進**

- 県内の駅や空港等に、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置し、県内外の方々を“おもてなしの心”で迎えます。
- 地域住民と、参加選手をはじめとする来場者との交流が生まれるよう取り組みます。

## **(3) 大会文化プログラムの展開**

- 宮崎県ならではの文化・芸術に係る展示会や音楽会、郷土の祭り、伝統芸能等に係る事業など、競技観戦以外にも楽しめる「大会文化プログラム」を展開します。

# **4 「未来のみやざき」づくりを進める大会**

---

## **(1) 「スポーツランドみやざき」の拠点づくりの推進**

- 大会の開催を契機に、県内各地に定着した競技や充実したスポーツ施設を生かした、スポーツの拠点づくりを目指します。

## **(2) スポーツを生かした地域の振興**

- 各地で開催された競技会等がそれぞれの地域に定着することで、地域のスポーツ振興を通じた、活力と魅力に満ちた地域づくりを目指します。

## **5 共に支え合う社会づくりを進める大会**

---

### **(1) 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の一体的な開催**

- 両大会共通の基本方針・計画等を策定するなど、大会の開催準備を一体的に進めていきます。
- 大会における広報や関連イベント等を一体的に行うことにより、障がいに関する理解促進や交流の場を創出します。
- 障がいのあるなしにかかわらず、互いが交流し尊重し合えるような大会運営を目指します。

### **(2) 障がい者スポーツの振興**

- 障がい者を対象とした競技会を開催し、スポーツを通して豊かな生活の実現や競技力の向上を図ります。
- 指導者や審判の養成・確保に取り組むことにより、より多くの障がい者がスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
- 大会開催を契機として、障がい者に対して、健康増進や交流等、スポーツの魅力を発信します。

### **(3) バリアフリー等に配慮した大会運営**

- バリアフリーに配慮し、誰もが利用しやすい会場づくりに取り組むとともに、宿泊、輸送・交通などにおいても、障がいのある選手や役員が安心して参加することができる大会運営を目指します。
- 手話や点字による案内など情報保障に関する環境を整備し、選手や役員、観客等に分かりやすい情報提供を行います。

## 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の式典は、「国民体育大会開催基準要項」、「同規則」及び「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」並びに「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」を踏まえ、「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」にふさわしい式典とする。

### 1 基本理念

- (1) 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元気・勇気・感動を共有できる式典とする。
- (2) 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。
- (3) アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

### 2 式典の構成

式典は、国スポ及び障スポ（以下「大会」という。）の開・閉会式、各競技会の表彰式（以下「表彰式」という。）、炬火イベントで構成する。

#### (1) 大会の開・閉会式

国スポの総合開・閉会式は、「国民体育大会開催基準要項第20項」に規定する式典、役員・選手団入退場及び集団演技で構成する。障スポの開・閉会式は、国スポに準じた構成とする。

#### (2) 表彰式

国スポの表彰式は、「国民体育大会開催基準要項細則第9項」の規定により構成する。障スポの表彰式は、国スポに準じた構成とする。

#### (3) 炬火イベント

炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事及び大会の開・閉会式で構成する。

### 3 式典の企画・運営

#### (1) 大会の開・閉会式

開・閉会式は、県が企画・運営に当たる。

#### (2) 表彰式

国スポの表彰式は、県が別に定める要項に基づき、会場地市町村が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。障スポの表彰式は、県が会場地市町村及び競技運営主管団体と協議の上、企画し、会場地市町村及び競技運営主管団体が運営に当たる。

#### (3) 炬火イベント

炬火イベントは、県及び会場地市町村が別に定める要項に基づくものとする。



第81回国民スポーツ大会・  
第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会



第7回全国障害者スポーツ大会専門委員会

議 事

[議 事]

- (1) 第26回全国障害者スポーツ大会  
正式競技 開催予定施設の変更(素案)…………… 1
- (2) 第26回全国障害者スポーツ大会  
正式競技 第3次会場地市町村選定(素案)…………… 2～3
- (3) 第26回全国障害者スポーツ大会 選手団サポーター養成基本方針(案)…… 4



つむ 紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会

## 第26回全国障害者スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の変更（素案）

第26回全国障害者スポーツ大会正式競技会場地市町村第1次（令和3年2月15日第7回常任委員会決定事項）において選定したソフトボール競技（知的）、フットソフトボール競技（知的）の開催予定施設を、次のとおり変更する。

※下線部：変更箇所

番号	競技	障がい種別	市町村	開催予定施設	
				変更前	変更後
1	ソフトボール	知的	<u>日向市</u> ↓ <u>宮崎市</u>	<u>お倉ヶ浜総合公園</u>	<u>ひなた宮崎県総合運動公園運動広場</u>
2	フットソフトボール	知的	延岡市	西階公園	西階公園 <u>補助グラウンド</u>

第26回全国障害者スポーツ大会  
正式競技 会場地市町村第3次選定（素案）

番号	競技	障がい 種 別	市町村	開催予定施設
1	グランドソフトボール	身体	日向市	お倉ヶ浜総合公園運動広場

## 第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【競技別】

### 【開・閉会式】

内 容	市町村	開催予定施設
開・閉会式	都城市	(仮称)新宮崎県陸上競技場

※荒天等により屋内で開催の場合「都城市総合文化ホール」

### 【実施競技】

番号	競技(種目)	障がい種別	市町村	開催予定施設
1	陸上競技	身体・知的	都城市	(仮称)新宮崎県陸上競技場
2	水泳	身体・知的	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール
3	アーチェリー	身体	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
4	卓球 (サウンドテーブルテニス含む)	身体・知的・精神	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市中央公民館
5	フライングディスク	身体・知的	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場
6	ボッチャ	身体	都城市	早水公園体育文化センター
7	ボウリング	知的	宮崎市	宮崎エースレーン
8	バスケットボール	知的	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
9	車いすバスケットボール	身体	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
10	ソフトボール	知的	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園運動広場
11	グランドソフトボール	身体	日向市	お倉ヶ浜総合公園運動広場
12	バレーボール	身体	都城市	早水公園体育文化センター
		知的	日南市	日南市北郷体育館
		精神	小林市	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設
13	サッカー	知的	新富町	新富町フットボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場
14	フットソフトボール	知的	延岡市	西階公園補助グラウンド



## 第26回全国障害者スポーツ大会 選手団サポーター養成基本方針（案）

第26回全国障害者スポーツ大会に参加する選手及び役員の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、選手との交流を通して次世代を担う若者が障がいのある方への理解を深め、大会終了後も様々なボランティアとして地域で活躍するきっかけとなるよう、学生等で構成する選手団サポーターを養成する。

### 1 選手団サポーター養成基本方針

- (1) 選手団サポーターの養成は、県が、県内の大学、専修学校等の協力を得ながら行う。
- (2) 選手団サポーターの養成に当たっては、障がいのある人に配慮した行動をとれるよう障がいに係る知識の習得や障がいの理解の促進に係る講習等を行う。
- (3) 選手団サポーターが、選手等との交流の中で経験や知識を得て成長できるよう、県及び県内の大学、専修学校等は、配慮を行う。

### 2 種別及び内容

選手団サポーターは、以下に定義する業務に従事するボランティアをいう。

業務内容	人数
選手団の歓送迎・介助・誘導・交流等、選手団と行動を共にする。	800人

### 3 養成計画

選手団サポーターは、以下の計画により養成する。

2023年度(R5) 【開催4年前】	2024年度(R6) 【開催3年前】	2025年度(R7) 【開催2年前】	2026年度(R8) 【開催1年前】	2027年度(R9) 【開催年】
基本方針策定		養成協力校 連絡協議会設置  カリキュラム・ テキスト作成	配置計画策定	第26回 全国障害者 スポーツ大会
	協力校選定・依頼	協力校決定	養成講座実施	



第81回国民スポーツ大会・  
第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会



## 第7回全国障害者スポーツ大会専門委員会

### その他

- (1) 手話・要約筆記ボランティア養成 実施状況…………… 1～2
- (2) 燃ゆる感動かごしま大会 視察報告…………… 3～5



つむぎ 感動 神話 となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会

## 手話・要約筆記ボランティア養成 実施状況

### 1 今年度の取組状況について

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会と委託契約を締結し、以下の事業を実施している。

1	手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議の開催
2	手話・要約筆記ボランティア養成カリキュラム・テキスト検討部会の開催
3	県内手話・要約筆記サークル等の実態調査
4	手話・要約筆記ボランティア指導者・リーダー養成研修
5	出前講座の開催
6	「燃ゆる感動かごしま大会」視察

### 2 手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議について

以下の団体の代表者により構成され、手話・要約筆記ボランティアを円滑かつ計画的に養成するための協議を行っている。

#### 【構成団体】

1	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
2	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
3	宮崎県手話サークル連絡協議会
4	全国手話通訳問題研究会宮崎県支部
5	全国要約筆記問題研究会宮崎県支部
6	筆記サポート「ゆうゆう」
7	NPO 法人宮崎県中途失聴難聴者協会



#### 【実施日】

第1回	令和5年 3月15日（水）
第2回	令和5年 7月26日（水）
第3回	令和5年11月24日（金）

### 3 手話・要約筆記ボランティア養成カリキュラム・テキスト検討部会について

以下の団体により構成され、手話・要約筆記ボランティア養成に使用するカリキュラム及びテキストの検討を行っている。

#### 【構成団体】

手話部会		要約筆記部会	
1	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会	1	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
2	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会	2	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
3	宮崎県手話サークル連絡協議会	3	全国要約筆記問題研究会宮崎県支部
4	全国手話通訳問題研究会宮崎県支部	4	筆記サポート「ゆうゆう」
5	NPO 法人宮崎県中途失聴難聴者協会	5	NPO 法人宮崎県中途失聴難聴者協会

#### 【実施日】

第1回	令和5年10月11日（水）
第2回	令和5年12月13日（水）

#### 4 手話・要約筆記ボランティア指導者・リーダー養成研修について

現在、手話・要約筆記サークルを中心にリーダーを募集している。今年度中に、鹿児島県のリーダー経験者を講師として招へいし、リーダー候補者及びリーダーに関心のある方を対象に体験談の講演会を開催予定。

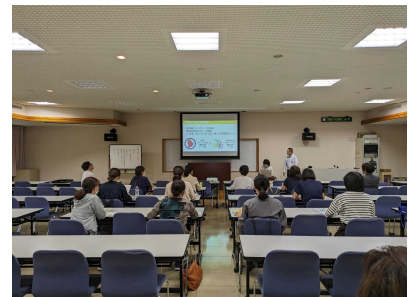
【リーダー】各競技会場などの手話・要約筆記ボランティアの取りまとめや連絡調整等を行っていただく、ボランティアの核となる方。

【指導者】ボランティア養成研修会で講師を務めていただく方。リーダーの中から選出予定。

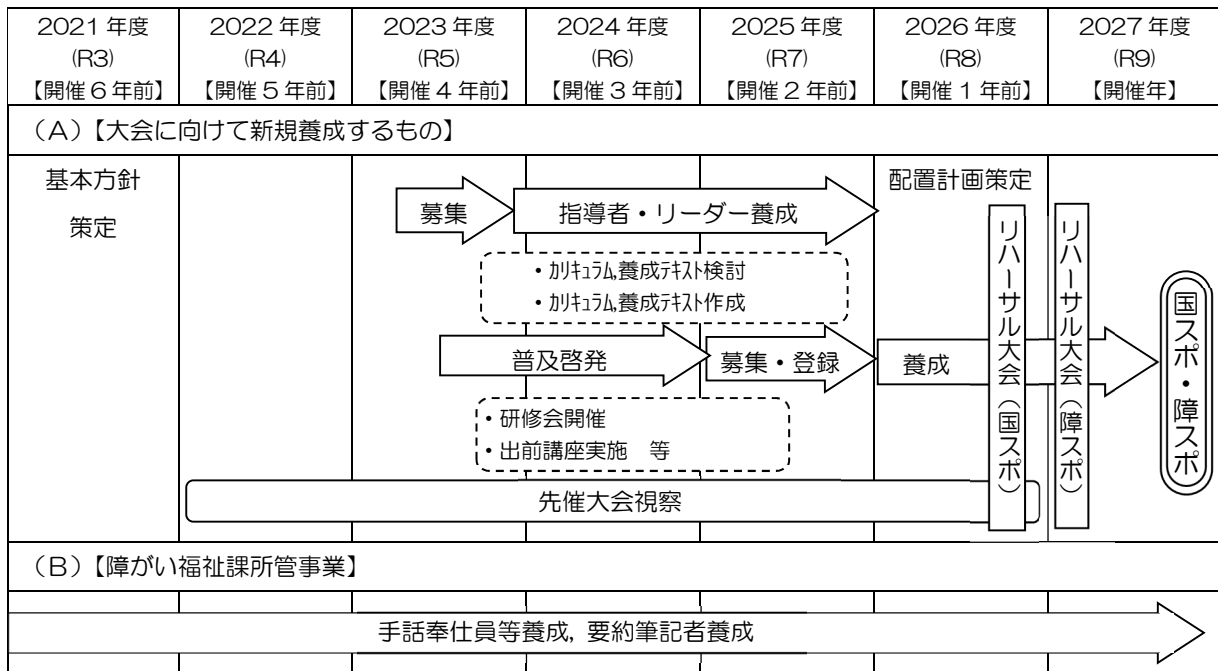
#### 5 出前講座について

県内の手話サークル等に対し、国スポ・障スポの概要や手話・要約筆記ボランティアについて説明する出前講座を実施。(約30分間)

実施回数	参加者数
9回	162人



#### 6 養成計画について（今後のスケジュール）



## 燃ゆる感動かごしま大会 視察報告

### 1 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」について

- ・ 鹿児島県内7市で、10月28日（土）の開会式から30日（月）の閉会式までの3日間開催された。
- ・ 14の正式競技が行われ、競技には選手や観客などを含め52,053人が大会に参加した。（オープン競技や開閉会式を含めると、84,562人）
- ・ 県国スポ・障スポ準備課から10名が大会視察を行った。

## 燃ゆる感動かごしま大会 会期 2023年10月28日(土)～10月30日(月)

#### ■開会式・閉会式

式典	会場地	式典会場	10月		
			28 土	29 日	30 月
開会式	鹿児島市	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)	●		
閉会式					●

#### ■正式競技(14競技【個人競技7・団体競技7】/7市)

競技名	障害区分	会場地	競技会場	競技日程			
				10月			
				28 土	29 日	30 月	
個人競技	陸上競技	身・知	鹿児島市	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)	●	●	●
	水泳	身・知	鹿児島市	鴨池公園水泳プール	●	●	●
	アーチェリー	身	鹿児島市	鹿児島ふれあいスポーツランド芝生広場	●	●	●
	卓球(サウンドテーブルテニスを含む)	身・知・精	鹿児島市	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)	●	●	●
	フライングディスク	身・知	鹿児島市	鹿児島県立サッカー・ラグビー場	●	●	●
	ポッチャ	身	指宿市	指宿総合体育館	●	●	●
	ボウリング	知	鹿児島市	サンライトゾーン	●	●	●
団体競技	バスケットボール	知	始良市	ビーラインスポーツパーク始良体育館(始良市総合運動公園体育館)	●	●	●
	車いすバスケットボール	身	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館	●	●	●
	ソフトボール	知	南九州市	知覧平和公園多目的球場	●	●	●
	フットソフトボール	知	南九州市	知覧平和公園陸上競技場	●	●	●
	グランドソフトボール	身	指宿市	開聞総合グラウンド	●	●	●
	バレーボール	身・知	鹿児島市	南米リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)	●	●	●
		精	鹿屋市	平和公園申良平和アリーナ	●	●	●
サッカー	知	霧島市	国分運動公園陸上競技場・国分運動公園多目的広場	●	●	●	

#### ■オープン競技(3競技/1市)

競技名	障害区分	会場地	競技会場	実施日
スポーツウエルネス吹矢	身	鹿児島市	ハートピアかごしま	10月22日(日)
電動車椅子サッカー (パワーチェアフットボール)	身	鹿児島市	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)	10月21日(土)～10月22日(日)
ふうせんバレーボール	身・知・精	鹿児島市	鹿児島市勤労者交流センター(よかセンター)	10月29日(日)

身＝身体障害者が出場できる競技  
 知＝知的障害者が出場できる競技  
 精＝精神障害者が出場できる競技

## 2 開会式・閉会式（白波スタジアム）（10月28日・30日）

- ・ 事前にフィールド内に選手団・プラカード分のイスが設置されていた。
- ・ 日を遮るものがなく、常に選手団や観客に日が当たる状態であった。選手団も長時間その状態であったので、体調不良を訴えている様子も多数見られた。
- ・ メインスタンドの仮設席は、鹿児島市の小・中学生で埋め尽くされていた。
- ・ オープニングプログラムは、国体総合開会式のオープニングプログラムの映像が流れ、国体とのつながりをもたせる構成であった。
- ・ メインステージの左右に手話通訳の方の台があり、通訳の方は台上で選手団へアナウンスの内容を伝えていた。
- ・ ぐりぶー広場では、選手団サポートボランティアが各県選手の車いすを押したり、行動をサポートしていた。また、ステージでは、モニターが設置されており、ステージ横のテントでパソコン要約筆記6名が作業を行っていた。
- ・ 車椅子用の仮設トイレだけでなく、ほじょ犬用のトイレスペースもあった。
- ・ 開会式では、情報支援ボランティアは手話2名、筆談1名、手書き要約筆記3名が情報保障席に座っていた。大型ビジョンには、要約筆記と手話通訳が表示されていた。
- ・ 閉会式には全選手が参加。全選手行進を行わず、事前に入場していた。



<情報保障席>



<手話通訳>



<選手団サポートボランティア>



<手荷物検査>



<PC要約筆記ボランティア>



<ほじょ犬トイレ>

### 3 競技運営

- ・ 多くの競技役員やボランティアにより各競技が運営されていた。
- ・ 「情報保障席」が設置されており、情報支援ボランティア（手話、筆談、手書き要約筆記、パソコン要約筆記）が常駐し、会場アナウンスや試合進行（得点等）のホワイトボードへの記載や、手話での説明を行っていた。
- ・ 水泳会場のパソコン要約筆記は、ワープロ部の高校生がボランティアを行っていた。
- ・ 学生による「選手団サポートボランティア」が選手団の弁当を運び、各選手の試合を積極的に応援している姿が見受けられた。



<情報保障席>



<PC 要約筆記・高校生ボランティア>



<選手団サポートボランティア>

### 4 バリアフリー対策

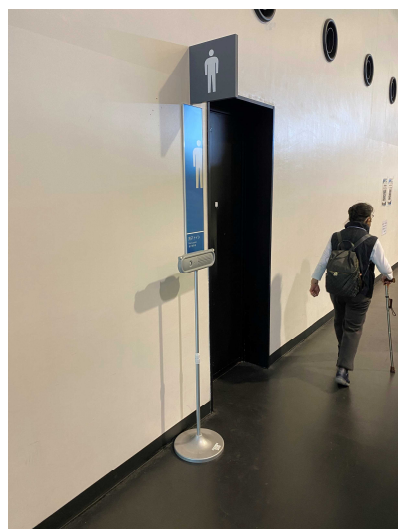
- ・ 各競技会場入り口において、段差がある部分は仮設スロープで対応していた。
- ・ おもてなし広場や各競技会場の芝生エリアに関しては、車いす利用者が移動しやすいよう、養生やゴムマットが設置されていた。
- ・ トイレ入口には音声案内が設置されていた。
- ・ 体育館内の多目的トイレの数が足りずに順番待ちがでている状況であった。選手控えのテントにも多目的トイレがあったが、競技会場から少し遠いので試合前の選手などで体育館内の多目的トイレの利用が多かったと考えられる。多目的トイレの数は問題ないと感じたが、配置の検討も必要であると感じた。（ポッチャ）



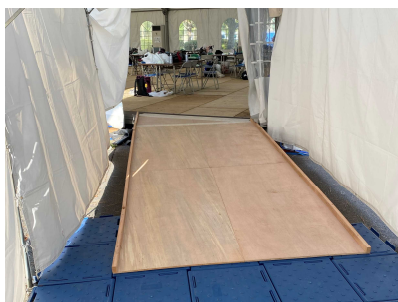
<芝生エリアの養生>



<仮設多目的トイレ>



<トイレ音声案内>



<仮設スロープ>

